

九州經濟國際化推進機構



2010年度 事業報告

【総括】

○平成22年度は、昨年度に引き続き、九州一体となった広域化を図りながら、①国際化戦略等の企画・立案、②九州地域の情報発信、③九州と海外との産業交流、④外国企業誘致支援、⑤留学生との交流のための事業を展開。

○特に産業交流では、これまでの継続的な会議体を通じて構築したネットワーク、「環境」をテーマにした事業の中で培ってきたノウハウを、『環黄海WEEK』に集結させることにより、相乗効果の高い事業展開と国内外への情報発信が実現した。

○また、MOUに基づくベトナムへの訪問団派遣、海外展開を支援するためのセミナー等の情報提供事業・商談会、留学生との交流事業の開催など、九州が育んだ資源を活用しつつ海外展開の具体化につながるような事業実施に努めた。

【個別事業】

- | | |
|-----------------------|------|
| 1. 国際化戦略等の企画・立案 | …P 3 |
| 2. 情報創造・発信<九州地域の情報発信> | …P 4 |
| 3. 産業交流<九州と海外との産業交流> | |
| (1)アジア地域との経済・産業交流事業 | …P 5 |
| (2)海外ビジネス・経済情報提供事業 | …P11 |
| (3)海外販路開拓支援事業 | …P13 |
| 4. 産業立地<外国企業誘致支援> | …P15 |
| 5. 人材交流<留学生との交流> | …P16 |

1. 国際化戦略等の企画・立案(機構運営を含む)

○国際化戦略等の企画・立案に資するため、関心の高い“中国人観光客”と“「食」のアジア展開”をテーマとして取り上げ、中国人観光客の増加が九州企業の市場開拓に与える影響や可能性について勉強会を開催。

○また、機構事業のあり方や今後の事業について、機構会員へのアンケート調査によりニーズを把握。企画調整会議を開催し、意見交換を行った。

■「食」のアジア展開 勉強会～中国人観光客は海外市場の入口となりうるか！？～

日 程： 平成22年10月1日(金)15:30～17:15

場 所： 福岡市(中小企業基盤整備機構九州支部 会議室) ※後頁で詳細記載

■九州経済国際化推進機構 企画調整会議・幹事会・総会の開催

<企画調整会議>

日程・場所： 第1回 平成22年10月1日(金) ((独)中小企業基盤整備機構九州支部)

第2回 平成23年3月10日(木) ((社)九州経済連合会)

内 容： 22年度事業報告及び23年度事業計画について意見交換。

<幹事会>

日 程： 平成22年4月27日(火)15:00～16:30

場 所： 福岡市((社)九州経済連合会)

内 容： 21年度事業報告及び決算報告、22年度事業計画及び予算案について審議を行った。

<総会>

平成22年5月、書面により開催

■国際関係イベント、海外関係機関からの情報の共有

機構事業の進捗報告や事業案内、海外関係機関からの情報について、随時メール等により情報共有を行った。



2. 情報創造・発信＜九州地域の情報発信＞

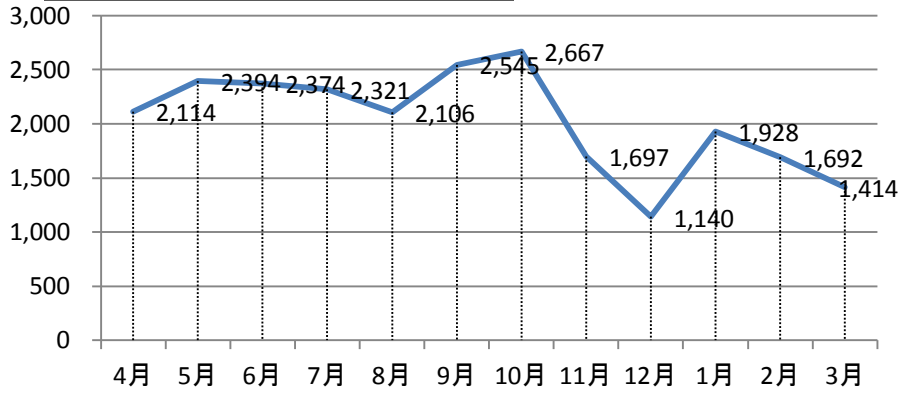
- 九州の投資環境、九州と海外との交流事業等について、ウェブサイトにより情報を発信。
- 九州観光推進機構協力のもと作成した、広報資料「PROFILE OF KYUSYU」を活用し、国際会議、展示会、外国機関訪日等の場でPRを実施し、九州のプレゼンス向上を図った。

■九州経済国際化推進機構ウェブサイト

URL <http://www.kyushu-kei.org/>

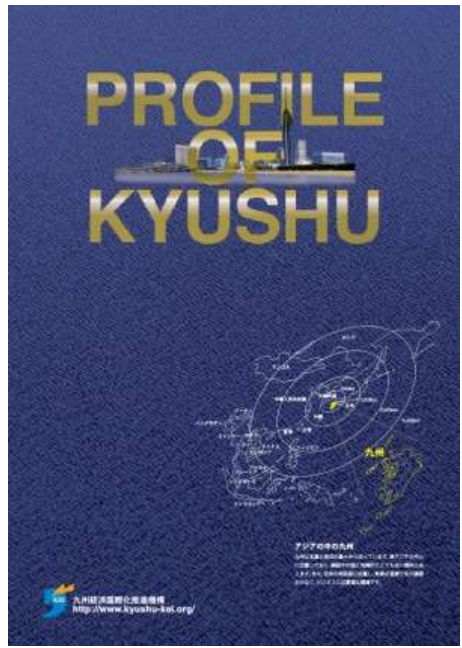
- ・22年度アクセス件数：24,392件
※ページビューのトータル件数
- ・更新回数：30回
※ホットニュース掲載件数

平成22年度月別アクセス件数



■PROFILE OF KYUSHU

(日本語、英語、中国語、韓国語版)



コンテンツ別・年度アクセス TOP10

1. トップページ	6,399	6. 九州の投資環境	1,334
2. 九州の外資系企業	1,873	7. 九州の産業施設等見学ガイド	1,303
3. 九州の国際交流	1,812	8. トップページ(英語版)	927
4. 国際化推進機構とは	1,520	9. 九州の概況	910
5. 九州の戦略産業	1,391	10. 環黄海地域交流	695

3(1) アジア地域との経済・産業交流事業～環黄海地域①

○中国、韓国の中央政府や経済団体とのパートナーシップのもと、環黄海圏の経済交流の深化を図るため、「第10回環黄海経済・技術交流会議」を開催。

○10回目となる今回は、「環境(環黄海環境経済圏の形成)」をメインテーマに設定。『環黄海WEEK』として、環境関連の各種事業(環境見本市、ビジネス交流、自治体間交流事業等)を同時期に集中して開催し、相乗効果の創出と情報発信力の強化を図った。

■第10回環黄海経済・技術交流会議

日程： 平成22年10月13日(水)～14日(木)
 場所： 北九州市(北九州国際会議場ほか)
 主催： 九州経済国際化推進機構、九州経済産業局
 韓国知識経済部
 中国商務部、科学技術部
 参加者数： 720名(九州463名、韓国130名、中国127名)

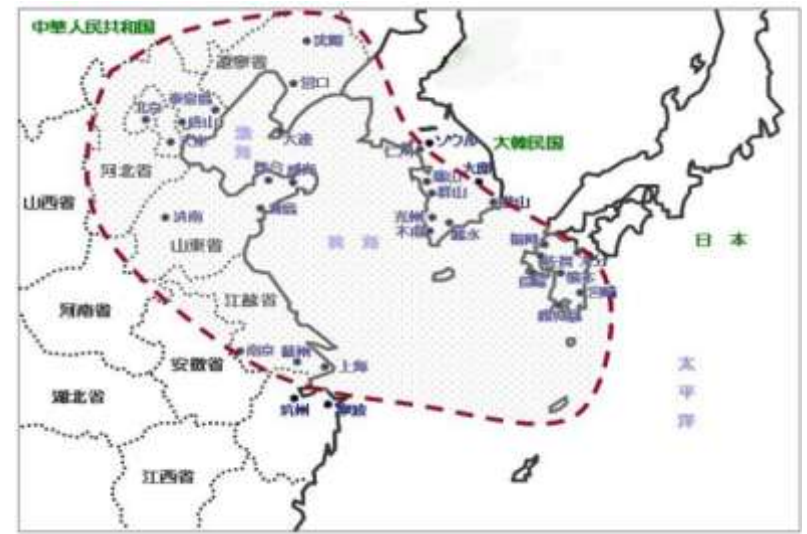
※環黄海WEEK全体では、約850名(エコテクノ除く)
 第10回環黄海経済・技術交流会議 720名
 第17回九州・韓国経済交流会議 78名
 東アジア経済交流推進機構(10都市会議) 125名
 ※エコテクノ2010(環境見本市) 29, 859名

<各国代表者>

- ◇九州 松尾 新吾 九州経済国際化推進機構 会長
(社)九州経済連合会 会長
- 滝本 徹 九州経済産業局長
- ◇韓国 韓 珍鉉(ハン ジニョン) 知識経済部貿易政策官
智 光薫(チ クワンホン) (社)韓日経済協会 専務理事
- ◇中国 宋 耀明(ソン ヤオミン) 商務部亞洲司 副司長
王 啓明(ワン チミン) 科学技術部国際合作司 参事官

(参考1)環黄海地域
 上海から大連、仁川から釜山に至る中国・韓国沿岸部及び九州からなる黄海を取り巻く地域経済エリア。
 同地域の人口は約4億人(全世界の約6%)。GDPは全世界の約5%に達し、ASEAN(同2.3%)を上回る水準に達する。

(参考2)政府部内の積極的評価
 本年5月、ソウルで開催された第7回日中韓経済貿易大臣会合にて本会議が取り上げられ、「環黄海経済・技術交流会議は、三国の地域間経済貿易協力推進のために積極的な役割を果たしている」旨の認識が共有されている。



3(1) アジア地域との経済・産業交流事業～環黄海地域②

■ 第10回環黄海経済・技術交流会議のポイントと成果

1. 『環黄海環境経済圏』の形成

環黄海会議では、「環黄海環境経済圏」を形成していくための具体的方策等について産学官で議論。

また、民間ベースの環境産業交流を三国政府当局が協力して支援していく旨の総括文書を発表。



3. アジアワイドのビジネス交流の実現 (既存見本市の活性化)

エコテクノ2010(西日本最大級の環境見本市)との同時開催により、アジアを中心に海外52社(うち、韓国27社、中国22社)のブース出展を確保。

また、会場内外で大小21本のセミナー等を開催し、環境ビジネス推進のための多様な情報を発信。



環黄海WEEKの創出

『環黄海WEEK』と銘打ち、環黄海会議に併せ、環黄海地域間交流の推進を図るための各種事業を同時開催



2. ビジネス成果創出を志向

韓国及び中国より、60社(韓国32社、中国28社)の参加を得て、環境分野にターゲットを絞った「九州・韓国・中国 環境ビジネス交流会(商談会)」等を開催。

約200件の商談を実施。



江蘇省企業による出展風景 →

4. 自治体の都市間国際交流との連携

東アジア経済交流推進機構(北九州、福岡、下関、大連、青島、煙台、天津、釜山、仁川、蔚山の10都市による経済交流フォーラム)の活動と同時開催とし、双方のフォーラムの相乗効果を増大。

3. 産業交流<九州と海外との産業交流>

3(1) アジア地域との経済・産業交流事業～環黄海地域③

環黄海会議 <全体プログラム>

①本会議(370名)
 ⇒ 下記フォーラム等の事業総括(報告)に引き続き、今後の環黄海地域の経済・科学技術交流促進に向けた協力事業等の提案を各国から実施。韓国側から次回開催地の提案を受け、九州側代表者が今次会合を総括。

②環黄海ビジネスフォーラム (287名)
 ⇒ 産・学・官の環境分野における経験・取組、及び、今後の産学連携活性化方策化等につき議論。

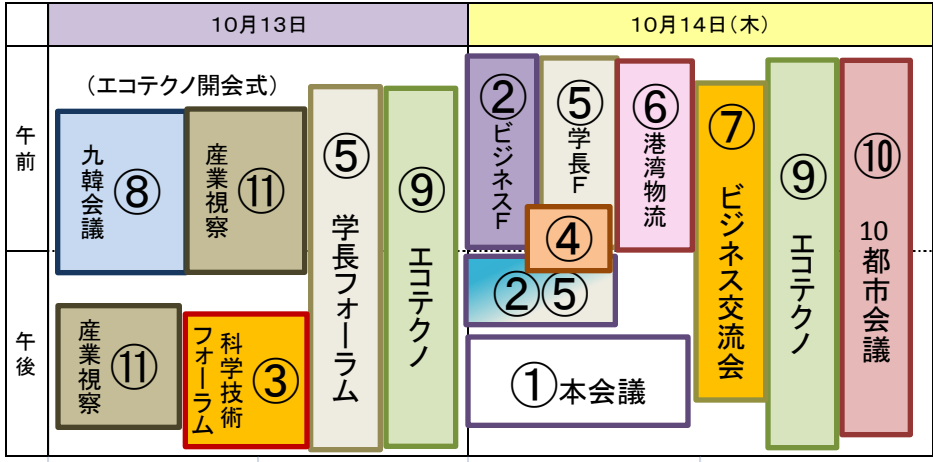
③環黄海科学技術フォーラム (217名)
 ⇒ 半導体・エレクトロニクス分野におけるグローバル戦略、知財戦略、オープン・イノベーションとグローバル協業の必要性等につき議論。

④三国局長会合(九経局、韓国知識経済部、中国商務部・科学技術部)
 ⇒ 「環黄海環境経済圏」形成のために、三国政府当局が適切に支援していく旨を議長総括でとりまとめ。

⑤環黄海産学官連携学長フォーラム (121名)
 ⇒ 域内35大学間で、環境、地域連携、人材育成の各テーマにつき議論。

⑥環黄海港湾物流経済フォーラム(156名)
 ⇒ 東アジア・環黄海地域における国際港湾物流の将来像について相互認識を深めるため、講演及び事例発表、パネルディスカッションを実施

⑦九州・韓国・中国 環境ビジネス交流会
 ⇒ 韓国及び中国より60社が参加し、約200件※のビジネス交流・商談、知財・海外ビジネス無料相談を実施。※エコテクノ会場内での商談件数を含む



環黄海会議 併催事業

⑧第17回九州・韓国経済交流会議(78名)
 ⇒ 九州・韓国間の経済交流促進のため、「九州地域・韓国南部地域超広域連携モデル事業の実施」等19事業が提案され、双方の協力事業として実施していく旨認識が一致。

⑨エコテクノ2010(来場者 約3万人)
 ⇒ 西日本最大の環境見本市(今回で15回目)
 ⇒ 海外から54社(うち、韓国27社、中国22社)の出展を得て、アジアワイドでのビジネス交流機会を提供。

⑩東アジア経済交流推進機構 (10都市会議:125名)
 ⇒ アジア低炭素化センターを中核とした10都市間のネットワーク構築、企業間交流の促進 等
 ⇒ 地域版EPAの創出を目指す環黄海アクションプランの取組を発信(11月の青島総会で署名)。

⑪環境先進施設視察(10/13、10/15AM)
 ⇒ 韓国・中国からの参加者に対して、エコタウン等の九州の環境先進施設を視察する機会を提供

環黄海会議 同時開催事業

3. 産業交流<九州と海外との産業交流>

3(1) アジア地域との経済・産業交流事業～環黄海地域④

○九州と中国との間で最も重要な協力分野の一つである、環境産業分野での経済交流の推進を目的として、昨年度に引き続きセミナーを開催。

○九州における環境ビジネスのアジア展開について紹介するとともに、新たな地域経済発展モデルとなりうる日中間協力事業の推進について日中双方が認識を共有する機会となった。

■九州・大連環境産業セミナー

日 程： 平成23年1月19日(水) 10:00～12:00

場 所： 中国・大連市

主 催： 九州経済産業局

共 催： 九州経済国際化推進機構、福岡大連未来委員会、
大連市政府、大連市環境保護産業協会

参加者： 約270名(九州側約70名、中国側約200名)

<プログラム>

1. アジア低炭素化センターと日中循環型都市協力事業
北九州市環境局長 佐藤 恵和 氏
2. 新たな地域経済発展モデルの共創に向けた、日中環境産業協力の強化
大連市環境保護局 国際合作処長 黄 建輝 氏
3. 環境ビジネスのアジア展開を目指すK-RIP
九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)
会長 麻生 泰 氏
4. 中日環保産業協力の民間プロセスの推進について
大連市環境保護産業協会会長 董 金慶 氏

※九州・関西－遼寧省 環境ビジネスミッションの一部として開催



<結果>

- ・九州側から、北九州市及びK-RIPが、行政・民間企業のそれぞれの立場から実施事業について紹介。大連市側からも、市政府と協会から、地域経済発展モデルとなりうる日中環境産業協力事業の推進について紹介があり、会場の参加者からも活発な質問や意見交換が行われた。
- ・日中双方の取組について、また、環境分野における、行政・民間の役割と期待について認識を共有する機会となった。

3(1) アジア地域との経済・産業交流事業～ベトナム①

○ベトナム計画投資省とのMOU締結(2009年2月)の具体化の一環として、九州ベトナム友好協会等と合同で「九州ベトナム訪問団」を派遣。計画投資省との継続的協議、セミナー開催、関係機関との意見交換の他、現地企業を訪問し、ベトナムのビジネス環境・市場・雇用等の実情について理解を深める機会となった。

■九州ベトナム経済交流調査団

日 程： 平成22年7月21日(水)～24日(土)
訪問先： ベトナム・ハノイ
主 催： 九州経済国際化推進機構
(財)九州地域産業活性化センター
九州ベトナム友好協会
参加者： 44名(32社・団体)

<結 果>

・MOUの締結後、セミナーのアンケート等に寄せられた九州企業の訪越ニーズを受け、九州ベトナム訪問団を派遣。

・九州経済界として、初めてベトナム計画投資省(MPI) ヴォー・フォン・フック大臣との面談を実現し、九州とベトナムの経済交流が進んでいる状況を確認しつつ、交流窓口機関となる機構及びMPIが、双方の経済交流の円滑化のために今後更に協力していくことを確認した。

・また、セミナーや関係機関・企業訪問を通じて、現地のビジネス実情の理解、関係者とのネットワークを深めるきっかけとなった。

<スケジュール>

1. ベトナム計画投資省(MPI)大臣との協議

2. 九州ベトナム経済交流セミナー

(九州経済国際化推進機構、ベトナム計画投資省主催)

- ・ベトナムへの日本の投資状況と課題
前MPI海外投資アドバイザー 市川 匡四郎 氏
- ・ベトナム進出事例
TOTO(株) 代表取締役会長 木瀬 照雄 氏
TOTO VIETNAM CO., LTD 社長 竹島 孝治 氏

3. 関係機関訪問(訪問順)

- ・ベトナム計画投資省(MPI)
- ・ベトナム貿易振興庁(VIETRADE)
- ・ベトナム外務省
- ・ハノイ市人民委員会
- ・在ベトナム日本国大使館

4. 企業視察

- ・ホンダベトナム《二輪車製造》
- ・AIC社(Advanced International Company)
《人材派遣・斡旋業》
- ・サンレッドリバー社(やずやオフィスビル)
《賃貸事務所》



3(1) アジア地域との経済・産業交流事業～ベトナム②

○九州ベトナム友好協会等の関係機関の活動を支援するとともに、ベトナムの最新情報や進出企業の事例を紹介するセミナーを開催した。

■ 2011年ベトナムセミナー

～在ベトナム日本国大使館 谷崎泰明特命全権大使をお迎えして～

日 程： 平成23年3月4日(金)17:00～19:00

場 所： 福岡市(西鉄グランドホテル)

主 催： 九州ベトナム友好協会、九州経済国際化推進機構

参加者： 138名

<プログラム>

1. 基調講演

在ベトナム日本国大使館 谷崎 泰明 特命全権大使

2. 特別講演

(株)八ちゃん堂ベトナム 代表取締役社長 川邊 義隆 氏

<結 果>

・谷崎大使よりベトナムの政治体制や経済状況、外交等の最新情勢及び日越関係について講演の後、川邊社長よりベトナムへの投資の成果と課題について事例紹介。

・アンケート結果では、ほとんどの参加者が役に立ったと回答し、ベトナムの最新情報がよく分かった、具体的な話で参考になった等の意見が寄せられた。



■ 中小企業のためのベトナムセミナー in 福岡

日 程： 平成23年3月10日(木)14:00～18:00

場 所： 福岡市(エルガーラホール)

主 催： (独)中小企業基盤整備機構九州支部

共 催： ジェトロ福岡、九州経済国際化推進機構

参加者： 約120名

<プログラム>

1. ベトナム市場について

ベトナム経済研究所 研究理事 星野 達哉 氏

2. 企業事例「ベトナム進出の着眼点」

(株)タカギ 代表取締役 高城 寿雄 氏

(株)八ちゃん堂ベトナム

代表取締役社長 川邊 義隆 氏

<結 果>

・星野講師より、ベトナムの歴史的背景等をふまえながら、現地の流通構造や商習慣等について講義を行った。その後、川邊社長と高城社長よりベトナム進出について経験を踏まえた事例を紹介。

・アンケート結果では、有効回答数の約95%の参加者が参考になったと回答し、ベトナム市場の特性がよくわかった、進出についての実体験をふまえた話で参考になった等の意見が寄せられた。

3(2) 海外ビジネス・経済情報提供事業①

○中国をはじめとするアジア地域で市場開拓に取り組もうとする中小企業を支援するため、海外へのビジネス展開に必要な最新マーケット情報、海外展開企業の事例、支援制度等に関するセミナー・講演会等を九州各地で開催した。

■アジア販路開拓セミナー

日 程： 平成22年9月2日(木) 14:30~17:00
場 所： 熊本市(熊本市国際交流会館ホール)
主 催： 九州農政局、九州経済産業局、三菱東京UFJ銀行
※九州経済国際化推進機構は後援
参加者： 131名

<プログラム>

1. 需要高まる中国市場～海外輸出における留意点～
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) コンサルタント 森下 翠恵 氏
2. 九州からアジアへ～新たなビジネスモデルで食の文化を切り拓く～
(株)インショップジャパン 代表取締役 佐藤 彰 氏
3. 貿易決済の基礎知識
三菱東京UFJ銀行 国際業務部 調査役 五十嵐 潔 氏



<結果>

・アジア主要国の概況、外食企業の海外進出のプロデュース事例、貿易取引の流れについて講演を実施。
・アンケート結果では、回答企業の約4割が海外展開している又は具体的に検討している段階にあったことから、経験に基づいた実践に近い事例の紹介に対する評価が高かった。

■「食」のアジア展開 勉強会～中国人観光客は海外市場の入口となりうるか～

日 程： 平成22年10月1日(金) 15:30~17:15
場 所： 福岡市(中小企業基盤整備機構九州支部 会議室)
主 催： 九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、
(独)中小企業基盤整備機構 九州支部
参加者： 41名

<プログラム>

1. 来日する中国人観光客向け地域製品の販売戦略
(株)チャイナ・コンシェルジュ 代表取締役社長 大西 正也 氏
2. 商談会・物産展の活用方法とフォローのあり方
福岡商工会議所 海外定番化支援アドバイザー 畑中 英明 氏



<結果>

・中国人観光客増加の背景・属性、九州におけるビジネスチャンスや観光客へのアプローチ手法について、また、販売戦略等について説明。
・報道では分からない中国の実情、実務経験に基づく現場の話について有益であったとの声が聞かれた。

3(2) 海外ビジネス・経済情報提供事業②

■アジア講演会「広がる中国市場とビジネスチャンス」

日程： 平成22年10月29日(金) 15:00～17:20
場所： 長崎市(ホテルニュー長崎)
主催： (財)貿易研修センター、九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、長崎県
参加者： 52名



<プログラム>

1. 中国内陸市場の拡大と日系企業の対応
(株)野村総合研究所 事業戦略コンサルティング部
部長 中島 久雄 氏
2. 中国の市場開拓のための商談とその留意点
(株)ナンカイ 取締役 石原 高陽 氏
3. 九州と中国の環境産業交流の紹介
九州経済産業局 国際部長 木佐貫 純也

<結果>

- ・中国消費市場の実態と日本企業が直面する課題・対応事例、また、海外バイヤーとの商談時に必要な輸出貿易実務のシミュレーションについて紹介がされた。
- ・貿易実務については、より具体的な情報に対するニーズが高く、少人数でのワークショップなどの形式での事業への希望が出された。

■海外ビジネスサポートセミナー～中小企業の海外展開に向けた知財・人材活用戦略～

日程・場所： 平成22年11月17日(水) 鹿児島市(ホテルタイセイアネックス)
平成22年11月18日(木) 宮崎市(ニューウェルシティ宮崎)
主催： 九州経済産業局、九州知的財産戦略協議会、九州経済国際化推進機構、開催県等
参加者： 鹿児島会場 44名、宮崎会場 43名



<プログラム>

1. アジアの成長を意識した知財に基づく新しい経営の模索～前向きなアジアとの協調発展～
溝口国際特許事務所 弁理士 溝口 督生 氏
2. 日本企業におけるグローバル人材の活用
東京大学工学部 特任研究員 九門 崇 氏
3. グローバル人材の活用と課題
日本有機(株) 代表取締役会長 川崎 暢義 氏

<結果>

- ・海外展開におけるリスク管理としての「知財」だけでなく、マーケット開拓のコンセプトワークに機能する「知財」という前向きな発想・考え方が新鮮であった。
- ・グローバル人材に関する知識と具体的な事例が紹介され、中小企業の人材戦略に参考になるとの意見が寄せられた。

3(3) 海外販路開拓支援事業～展示会・商談会

○九州企業とアジア地域とのビジネス交流拡大を目的として、「中国国際工業博覧会」日本パビリオンに九州ブースを出展。第3回目となる今回は、運営面でのサポート体制を強化しつつ、九州としての一体感が伝わるよう効果的なPRを実施。

○また、九州での展示会開催に併せた九州企業との交流(商談)機会の創出等を行った。

■中国国際工業博覧会 共同出展

日程: 平成22年11月9日(火)～13日(土)
場所: 中国・上海市(上海市国際博覧中心)
主催: 九州経済国際化推進機構
内容: 中国国際工業博覧会“環境保護技術と設備展”にジェットロが設置する日本パビリオンに「九州経済国際化推進機構共同ブース」として9ブースを出展。
商談件数: 204件

<出展機関>

①九州商工会議所連合会(信号電材(株))、②福岡県((社)福岡県産業廃棄物協会)、③佐賀県(宮崎鉄工(株))、④⑤長崎県((株)イサミヤ、(株)濱田屋商店)、⑥熊本県(ユニバーサル・グリーンテクノ(株))、⑦鹿児島県(国分電機(株)、アース化研(株))、⑧北九州市((株)アクアテック、環境テクノス(株))、⑨九州経済国際化推進機構

<結果>

・出展企業からは、日本・九州の環境技術に対するニーズの高さを実感できた、運営面でのサポートが助かった、国内企業同士の交流もでき営業活動の幅が広がったなどのコメントがあった。
・今後は更に、九州全体のまとまり感をアピールできる効果的なブース構成に努めながら九州のPRとビジネス交流の拡大を図る必要がある。

■九州・韓国・中国 環境ビジネス交流会※環黄海WEEKの一事業

日程: 平成22年10月14日(木)
場所: 北九州市(西日本総合展示場)
主催: 九州経済産業局、特許庁、北九州市、(社)九州経済連合会、ジェットロ、(財)九州地域産業活性化センター、(財)九州産業技術センター、九州経済国際化推進機構 他
内容: 中国、韓国の環境関連企業等と九州企業とのビジネス交流を促進するため、1対1での商談を実施。また、会場内には海外ビジネス、知的財産等の専門家による無料相ブースを設置。

参加企業・団体数: 韓国25社、中国16社、九州59社

商談件数: 114件(韓国60件、中国54件)

商談成立2件、可能性大10件、コンタクト継続69件

※商談後の通訳聞き取り結果

<結果>

・事前に双方の企業・製品情報を交換し、効率的な商談ができるようアレンジを実施。
・商談結果としては、2件の商談成立も含め、7割以上が今後もコンタクトを継続していくこととなり、中国・韓国とのビジネス創出の機会となった。

※九州内展示会等への協力支援

■MAP2010 第10回半導体実装国際ワークショップ

日程: 平成22年11月17日(水)～19日(金)
場所: 福岡市(ヒルトン福岡シーホーク)
内容: 基調講演、技術プレゼン、ビジネスプレゼン、展示商談会(ポスター出展)などで構成。2010年は、注目の「エコデバイス」、「三次元実装技術」、「部品内蔵基盤」、「実装コンソーシアム」などのトピックスに注目したプログラム。
結果: 参加者数311名、商談件数233件(うち成約見込47件)



3. 産業交流<九州と海外との産業交流>

3(3) 海外販路開拓支援事業～食品の輸出促進

○九州の食品のアジアマーケットへの販路拡大を目指し、関係機関との共催により、商談会、個別相談会及びセミナーを開催。中小企業の海外向け商談機会を創出した。

■「九州の食品」海外販路開拓支援事業

- 日 程： 平成23年1月13日(木)～14日(金)
場 所： 熊本市(メルパルクKUMAMOTO)
主 催： 九州経済産業局、九州経済国際化推進機構、熊本県、熊本市、ジェトロ熊本、(独)中小企業基盤整備機構、九州商工会議所連合会、特許庁、九州知的財産戦略協議会 等
内 容： 東アジアを仕向地としたバイヤーとのマッチング会(商談会)、アドバイザー・物流企業等による個別相談会、及び、海外展開に当たっての経営理念や具体的経験談について紹介するセミナーを開催。



【九州～東アジア 食の商談会】

- 参加企業数： 44社(福岡8、熊本30、大分1、宮崎2、鹿児島3)
商談件数： 169件
(韓国2、シンガポール2、台湾1、香港4、国内商社4)
※事前商談スケジュールベース

【個別相談会】

海外展開に伴う商標などの知的財産権の問題、港湾を活用した物流手法、物流コストのシミュレーション、食品の輸出に関する規制、商談中に課題になったこと等について、その場で解決ができるよう相談窓口を設置した。

【「九州の食品」海外販路開拓セミナーin熊本】

- 日 時： 1月13日(火)13:00～15:30
参加者： 66名

<プログラム>

「CoCo壱番屋の創業から海外展開まで」

(株)壱番屋 創業者特別顧問 宗次 徳二 氏

「中小企業の国際化戦略事例の分析(成功例と失敗例)」

(独)中小企業基盤整備機構九州支部 小林 修 氏

<結 果>

- ・本事業は20年度から開催し今回が3回目。熊本県・ジェトロ熊本等が主催する商談会との共催事業として開催。
- ・商談会については、熊本県、ジェトロ、商工会議所等が有するバイヤーとのネットワークを通じ、東アジア及び国内から質の高い多くのバイヤー招へいが実現。参加企業から高く評価されるとともに、海外バイヤーからは、取引につながりそうな商品と商談ができて良かった等の声が聞かれた。
- ・個別相談会では、物流コストのシミュレーションや商標の国際出願等の問題について相談する案件が目立った。
- ・セミナーにおいては、壱番屋創業者による自らの経営理念に基づく講演に対する評価が高く、更に、具体的な実例や実務に関する情報が欲しいとの意見が寄せられた。
- ・九州関係機関が一体となって開催することで、地元メディアからの注目度も高く、テレビ局・新聞など9社からの取材を受け、本事業を発信した。

4. 外国企業誘致支援事業

○地域活性化に効果的な外国企業誘致を推進するため、既に日本に立地されている外国企業の進出動向・活動状況等、及び我が国の立地競争力の現状と対応の方向性について紹介するとともに、講師と参加者間での意見交換を行う研修会を開催し、対日投資や企業誘致に取り組む九州の自治体担当者や関係機関等への情報提供を行った。

■外国企業誘致研修会

日 程： 平成22年9月17日(金)13:30～17:00
場 所： 熊本市(熊本全日空ホテルニュースカイ)
主 催： 九州経済国際化推進機構、九州経済産業局
参加者： 40名

<プログラム>

1. 日本のアジア拠点化について～“企業が国を選ぶ時代”の立地競争力強化～
経済産業省 貿易振興課 課長補佐 西浦 克 氏
2. 外国企業の進出動向・活動状況
ダイソル・ジャパン(株) 代表取締役 ジェネラルマネージャー 金森 美穂 氏
トックス・リックス プレソテック(株) 代表取締役社長 多々良 浩昭 氏

<結 果>

- ・新成長戦略にも記載されている日本のアジア拠点化の復活、高付加価値型外資系企業の立地促進に関する日本の立地競争力の現状を踏まえた今後の方向性に関する説明と、東京及び福岡に進出されている外国企業の具体的な進出事例を紹介した。
- ・参加者から、日頃の実務に経験を踏まえた実践的な質問が多くあり、質問者以外の参加者にも有益な情報提供となり、有意義な研修会となった。
- ・今後も、「対日投資の現状や政府、地域の取り組み」、「立地済み外国企業の進出事例、活動状況」などを紹介するセミナー・研修会の開催を期待する意見が多く寄せられた。



5. 留学生等活用支援事業

○企業の海外展開のために、我が国と海外とのブリッジ人材となりうる留学生の活用が期待されていることから、セミナー、交流会及び就職面談会の開催等を通じ、企業と留学生との交流の場を設け、相互理解を深め、九州の企業における留学生活用への足がかりの場を提供し、九州企業における留学生の活用促進を支援する事業を行った。

■留学生のための合同就職面談会2010

日程：平成22年5月15日(土)10:00~17:00

場所：福岡市(アクロス福岡)

主催：福岡県、国際ビジネス人材支援会議、福岡県留学生サポートセンター、九州経済国際化推進機構

参加者：出展企業 21社、留学生 266名

<プログラム>

1. 留学生のための就職セミナー／九州人財協議会 ディレクター 宮本 嘉典 氏
2. 合同就職面談会
3. 個別相談コーナー(キャリアコンサルタント、留学生OB・OG、行政書士)

<結果>

・企業と優秀な留学生との出会いを提供する、西日本で最大級の、今年で9回目となる面談会を開催した。
・企業と留学生の有力な就職・採用ルートの一つとして、面談会・セミナー・個別相談を同時に開催し、就職・採用にあたっての個別相談コーナーを設置し、具体的な相談に応じた。

■九州留學生産業交流セミナー・交流会～企業と留學生の交流フェア～

日程：平成22年10月3日(日)13:00~17:20

場所：大分市(大分東洋ホテル)

主催：九州経済産業局、九州経済国際化推進機構、大分地域留學生交流推進会議、大分県、大分商工会議所、別府商工会議所、大分経済同友会、特定非営利法人大学コンソーシアムおおいた

参加者：セミナー318名、交流会出展企業18社

<プログラム>

【第1部】セミナー

1. 基調講演「留学生を活用した企業経営の革新について」
(株)地域科学研究所 代表取締役 木下 光一 氏
 2. 関係機関説明
「日本での就職活動について」ジョブカフェおおいた別府サテライト
「就職、企業等に係る在留資格及び法改正について」福岡入国管理局大分出張所
 3. 事例紹介「留学生採用企業」本多機工(株)、(株)豊後企画集団
「九州企業に就職した元留学生」(株)ウエダ薬品、(株)大川金型設計事務所
- 【第2部】ブースセッション:各企業ブースにおいて、企業担当者と留學生が面談



<結果>

・第1部のセミナーでは、基調講演のほか、就職活動、在留資格等の手続き、実際に留学生を採用した企業・就職した元留学生からの事例を紹介。第2部のブースセッションでは、企業ブースを設置し、企業から留学生へ事業内容や採用についての説明を行った。
・意欲的な留學生が多く、活発な意見交換となり、留學生と企業とが相互理解を深める機会となった。